

第三セクター等に対する改善案（要旨）

1 評価・検証団体

社会福祉法人 周南市社会福祉事業団

2 評価・検証の基本的な考え方

第三セクター等は地方公共団体等が進めるまちづくりにおいて重要な役割を担っている一方、経営が著しく悪化した場合、地方公共団体等の財政に重大な影響を及ぼすだけでなく、市民サービスの低下を招く恐れがあります。

こうしたことから、主に「経営健全化」と「安定的な公共サービス提供」の視点から、評価・検証を実施しました。

3 経営改善案

●職員の人材育成、計画的な採用、組織体制の強化について

- ・介護従事者を確保し、安定的にサービスを提供していくためにも、中長期的な見通しによる職員採用計画を策定し、計画的な採用を進める必要があります。
- ・後継となる職員の育成やノウハウの継承を図るためにも、研修などについても継続的な実施が必要です。
- ・上記の取組みを推進していくためには、これまで以上に実効性のあるガバナンス体制の構築が必要と考えます。

●事務事業の見直し、改善による経営コストの削減

- ・中期経営計画において、経営の安定化のために、各施設等の取組みに対して目標指標を設定し、より実効性の高い取組みをされていることは高く評価できます。
こうした取り組みをさらに進化させるためにも、事業の棚卸を行い、評価を実施することで、PDCAサイクルを活用した、より効率的・効果的な取組みが図れると考えます。
- ・今後は取り組みに対する成果が求められることから、さらなる説明責任能力の向上を図られるよう検討をお願いします。
- ・今後は借入金の償還が経営を圧迫していく恐れもあることから、「最少の経費で最大の効果」をあげられるよう、経営コストの削減については常に意識し、改善を図りながら取組みを進める必要があります。

●市との連携の強化について

- ・市の公の施設は、利用者の減少や施設の老朽化などに伴い、今後、施設そのもののあり方についても見直しが行われることが予想されます。
このことは、施設で働く職員の処遇に直接関係してくることから、市とこれまで以上に情報交換を密に行うなど、より連携の強化を図りながら、取組みを進める必要があると考えます。